

## 平成25年度 第2回 米子市図書館協議会・会議録（概要）

○日時 平成25年12月20日 金曜日 午後2時から午後3時

○場所 米子市立図書館 第4研修室（2階）

○出席者 委員

渡邊 眞子、勝部 将之、藤原 厚子、小林 千春、大江 忍、今出コズエ、鷺見 裕貴  
事務局

（米子市立図書館）木下館長、伊藤副館長

（米子市教育委員会）永見生涯学習課長、幡井課長補佐

○欠席者 委員

根平 仁史、原 豊二

○傍聴者 1名

○報道関係 無し

### 【協議会の概要】

○開 会

事務局より開会

### 永見次長

みなさんこんにちは。レジメの方には教育長あいさつと書いてございますが、今日教育長がどうしても抜けられない所用が急遽出来たということで欠席しております。申し訳ありません。代わりまして図書館を所管する課長でございます永見でございます。よろしくお願ひします。みなさんには今回平成25年11月1日から2ヶ年間の任期で図書館協議会の委員をお願いしております。本来であればもうちょっと早めにみなさんにご案内してこの会を開くべきところではございましたが、若干時期が遅くなってしまったことをお詫びを申し上げたいと思ひます。今回9名の方委員をお願いしております。今日2方欠席ということでございますが、このうち4名の方が新たに委員でお願いするというので、半分くらい代わられるということでございます。新しい委員の方ぜひよろしくお願ひします。引き続きお願いしております5名の委員の方、これまでも増してまたこの委員会の中でお世話になることをよろしくお願ひします。

この図書館ですけれども、すでにご利用いただいていると思ひますけど、今年の8月17日にリニューアルオープンしております。4ヶ月経ったところでございますが、非常に評判が良く、従来の利用者から約1.5倍とか、非常に皆さんにご利用いただいているところで、大変喜んでおります。この施設が淀江町と米子市が合併した際に、文化施設等を整備する中で図書館整備ということがうたわれたものでございまして、それ以来平成17年が合併でございましたので、8年かってこういう形になりました。去年の5月からの工事で約1年ちょっと皆さんにご不便かけましたけれども、こうやって喜んでご利用いただけるということを喜んでいただいております。この図書館がますます地域の図書館、社会教育の拠点として運営できますように、委員の皆さまのご助言をいただけるようこの会を発足しておりますので、ぜひこれからも2年間ではございますがよろしくお願ひします。

事務局

ありがとうございました。先ほども課長が申しあげましたように、本日は改選となりまして初めての協議会でございますので、私ども事務局の方の出席者の紹介をさせていただきます。まず今ご挨拶を申しあげました。教育委員会生涯学習課の永見課長でございます。

#### 永見次長

永見です。よろしくお願いします。

#### 事務局

続きまして、米子市立図書館木下館長でございます。

#### 木下館長

図書館長の木下でございます。引き続きの委員さんには春に一度お目にかかっていますけれども、新しい委員の方もおられます。私は4月から図書館の方にお世話になることになりました。オープン間際ということだったんですけど、引越し等も無事終わって、8月にオープンということで、先ほど次長の方からもありましたが、非常にたくさんの利用者の方に来ていただいて、職員一同喜んでおりますし、今後も皆さんにご利用いただける図書館になるように努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

#### 事務局

続きまして、米子市文化財団の伊藤副館長でございます。

#### 伊藤副館長

副館長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。私は平成2年からこちらの図書館の方でお世話になっております。平成21年から副館長を拝命いたしております。今年5年目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 事務局

ここで1件ご報告がございます。本日、根平委員さん、原委員さん、2名の方が所用によりご欠席でございます。ご連絡を受けておりますので、ご報告申し上げます。

そういたしますと、議事に入ります前に、規則によりまして、本会の会長と副会長をそれぞれ1名、互選より任命することになっております。と申しましても、今回初めて顔を合わされる方が多ございますので、皆さまが簡単で結構ですので、ひと言ずつ自己紹介をお願いできたらと思っております。そうしますと、こちらから、藤原さんからお願いしたいと思っております。

#### 藤原委員

米子市立住吉小学校校長の藤原と申します。小学校校長会の方で図書館教育を担当しております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 小林委員

失礼いたします。美保中学校校長の小林でございます。よろしくお願いいたします。中学校校長会の方の図書館の関係の担当をしております。よろしくお願いいたします。

#### 大江委員

国際ソロプチミスト米子の大江忍でございます。よろしくお願いいたします。

#### 勝部委員

米子市社会教育委員の勝部と申します。よろしくお願いいたします。

#### 鷺見委員

公募で今回出席させていただきました鷺見と申します。本では多少苦勞しておりますので、それなりの意見が言えると思っております。よろしくお願いいたします。

## 今出委員

今出といいますけど、私は米子市の小学校に勤めて、それから県の教育委員をさせていただいて、それ以後はこうした会には出るような立場ではありませんで、新しい気持ちでしたいかなど。図書館につきましては、大変期待していた一人でございます。先ほどもありましたけど、新しい図書館に、私も家が遠いもので、今まで来れなかったんですけど、この頃また2週間に1回は来るんですけども、本当に子どもさん達と親御さん、それと何も仕事をしていない人、本当にたくさんの方が来られていて、これはすばらしいなと喜んでるところです。よろしくお願いします。

## 渡邊委員

図書館友の会米子を立ち上げまして4年、の会長をしております。さらに絵本会ほしのぎんかは米子市立図書館、ここが開館の当時から親子読書コーナーを教育委員会の生涯学習課の方にお願ひしまして25年間絵本の読み聞かせをしなが、住吉小学校さんの方にも、市内の学校も5校回らせていただいています渡邊眞子と申します。よろしくお願いします。

## 事務局

そういたしますと、会長副会長の選出に移りたいと思います。まず会長につきまして9人の皆様方の中から立候補、あるいはご推薦ありましたらお願いしたいと思ひます。

## 渡邊委員

前任の大原会長からのお気持ちを受け継ぎまして、共に2期ですけど、大原会長の下で指導を受けながら副会長をこの前までやらせていただきまして、残念ながら大原会長の方がいろんな諸事情で今回引かれまして、ぜひ良かったら自分の気持ちを引き継いで欲しいということをご連絡いただきましたので、微力ながら立候補させていただきたいと思ひます。

## 事務局

ただいま渡邊委員の方から、副会長を踏まえて今回会長の方を立候補ということでご発言がありました。皆さんいかがでしょうか。

一同 拍手

## 事務局

そうしますと、会長は渡邊委員さんということをお願いしたいと思ひます。続きまして副会長の選出に移りたいと思ひます。副会長につきましても同様に委員の皆様方の立候補あるいは推薦等がございましたらお願いをしたいと思ひますがいかがでしょうか？

## 渡邊委員

ご出席の中では勝部委員さんがずっと同席されていまして、欠席されることもなく前向きな意見をずっと投げかけてくださっていたので、ありがたいと思ひんですけど、勝部委員さんお願いいたします。

## 勝部委員

思わぬことがおきて、どうなんですかね？勤まりますかね？

一同 拍手

## 事務局

では、皆さんのご異議が無いようですので、勝部委員さんに副会長ということをお願いしたいと思ひます。そうしますと、渡邊会長、勝部副会長ということで決定いたしました。では、席の移動をお願いします。

会長さん改めましてご挨拶をお願いしたいと思ひます。

## 渡邊会長

私も随分迷いはあったんですけど、前任の大原先生の下で図書館というものをすごく考える機会をいただきました。初めての方も知らない方は「何でお前のような者が立候補したんだと思われるかもしれませんので、私と図書館の関わり方を2、3分スピーチさせていただいてよろしいでしょうか？

私は図書館というものは元々本を貸し出す所という認識しかなかった人間なんですね。図書館は本を貸してくれる所と思いながら25年間図書館に通い続けています。毎週。その中で教育委員会さんにもお願いして、何もなかった所に子どもたちにいい読書環境を与えたいということで、親子読書コーナーをお借りしまして25年間。来館される親子連れさんも今本当にお部屋がいっぱいです。多いときには50人を超えているはずなんですけど。そこでお子さんたちに読み聞かせをしながら、あとは小学校、幼稚園、保育園をずっと回らせていただいています。主軸は子供の分野かもしれませんが、幸い、今鳥取県も動いております、県の子ども読書アドバイザーの認定をいただきました。さらに第3次総合計画の方で鳥取県の教育委員会の皆さんと一緒に、子どもの読書環境を整えていこうということで委員を勤めさせていただいております。読書に関してはそういう役職をいただいている基で、素人ながらも図書館法とかを独学で学ばせていただいております。振り返りまして、私は図書館に通いながら、図書館の様々な行事に参加しているうちに、図書館の実に奥の深い活用の仕方があるのではないかと、図書館は単に本を貸し出すだけの所ではないということを深く学ばせていただく機会があり、公的な支援活動を含めて活動しながら今日まで勉強させていただきました。その中で何が私を助けてくださったかという、図書館の環境、図書館で一生懸命働いていらっしゃる専門職であり、専門の勉強をされた図書館の司書の方たちが、私が困っているときに、こんな本もあるよとか、こんな活用の仕方もあるよと教えてくださいました。図書館にはなくてはならない司書の方の存在だと思っています。皆さんもご存知のように図書館っていうのは赤ちゃんから老人まで、さらには外国人の方も、それに障がいを持っていらっしゃる方たちも含めて全ての方たちが、平等に、知る自由、学ぶ権利を保障されている場所。国が定めている図書館法によってきちんと守られていると思います。その図書館の中で私はたくさんの人に助けられました。図書館に来ている人たちはたくさんのお恩恵を受けられて、自分の仕事に生かされたり、地域での活動をされたり、文化的なことを興されたりいろいろとされていますが、図書館に来ていらっしゃる方達も、その活動の支援の輪に入ったことによって、図書館から受けられた恩恵を持たれた方達の知識と経験を、間接的にですけどきっといろんなところで受けとめられていると思います。だからこそ、私は図書館っていうものは大切なところであり、その図書館がいい図書館であればいい地域が広がると信じています。だからこそ、そこにアドバイスをくださって、その活動を支援して下さっているのも図書館で働いている職員の皆さまだと信じています。今日立候補する前に随分考えたんですけど、25年間私を育てて下さって、図書館活動のいろんな形を支援して下さった図書館職員の皆さま、それからここにある本、すべてのものに私は感謝をして皆さんと共により良い図書館を考えていく、意見を出し合っていく場の会長を勤めさせていただこうという決心ができましたので、どうぞよろしくお願いたします。

## 勝部副会長

米子に住んでる孫が、3歳の孫ですけど、「図書館がね、明るく広くなって、本がたくさんあって」と誇らしそうに。前の時にも親について何回か来ていたみたいですけど、すごく誇らしそうに話したのを聞いて、新しくなって良かったなという思いと。この間ある所で、いろんな人と話をしている時に、「久しぶりに図書館に行って本を頼んだら、70人待ちだった、驚いた。」という声を聞いて、こ

れも良かったなと思っております。ここに座ると思いもしませんでしたけど、本のある風景だとか集う図書館だとか、というイメージを持っておりますのでよろしくお願いします。

#### 事務局

ありがとうございました。そういたしますとここからの進行は会長をお願いをしたいと思います。

#### 渡邊会長

では、報告のところの第1 平成25年度の事業実施状況について事務局からお願いします。

#### 木下館長

では、報告ということで、資料1平成25年度の事業実施状況をご覧下さい。今日差し替えをさせていただきました。ご存知の通り、米子市立図書館は今年度5月19日までは旧市役所1階で代替図書館を開館しておりました。その後、リニューアルオープンの準備のために完全休館し、引越作業、開館準備を経て、8月17日リニューアルオープンをいたしました。8月17日以降に本格的に事業を行っています。資料1に11月末現在の各種事業の実施回数と参加人数を載せています。上から5番目「おはなし会」についてはリニューアル後非常に親子連れの方に来ていただいています、回数はまだ29回ですけども、参加人数は非常に増えています。これはボランティアの方にも非常にご協力をいただいております。11月に図書館まつりというのを例年はしているんですけど、今年につきましては、古本市などは行ないませんでしたけれども、2日間子どもイベントということで、「おはなし会」を2日間で計5回開催しました。これにも250人というたくさんの方にご参加いただきました。

オープニング記念ということで、例年よりたくさんの主催、共催の講演会や講座を開催しております。中ほどから下の方、「オープニング記念講演会」ところから下になりますが、「子どもの読書活動に関わる大人のための連続3回講座」、上田京子さんによります「生田春月への旅」、図書館協議会委員でもあられます原先生他によりますシンポジウムなども開催しております。また、県立図書館、鳥取大学医学図書館、放送大学との共催での講演会なども次々開催しております。また、これ以外にも図書館の研修室を使って鳥取環境大学の公開講座や鳥取県主催のフォーラムなどを開催していただいております。ビジネス支援に関してはまた後でご説明をしますので、次の裏面を見てやってください。今日上がってこられるときにもご覧いただけたと思いますけど、新しく2階に設置された多目的スペースは、個人または団体の文化活動や非営利活動にご利用いただける場所です。図書館主催の展示「生田春月展」とか「よなごの文庫を開く展」「伯耆文化研究会 児童作品展」なども行いましたが、それ以外にも一般の方からの利用申込により似顔絵展や作品展などを行っておりまして、図書館を利用される方にご覧いただいたり、あるいは逆に見に来ていただいた方が図書館の新たな利用者になっていただけると期待しております。1月以降も申し込みが入っております。合計のところを見ていただきますと、2,528人ということで、まだ12月の終わりですけど、人数的にもとてもたくさんの方にご参加いただいている状況です。

2番目、3番目も合わせてよろしいでしょうか？

#### 渡邊会長

お願いします。

#### 木下館長

そうしますと、続きまして2番目のビジネス支援事業につきまして資料2をご覧ください。ビジネス支援事業といえますのは、日常の仕事に必要な情報を入手したい方に、図書館にある仕事に役立つ様々な資料を通して必要な情報を提供し、仕事に役立てていただく。また、産業を支援する情報提供機能を強化し地域経済の活性化に貢献しようとするものです。米子市のビジネス支援事業の経過としましては、平成17年にビジネス関連雑誌コーナーとビジネス支援関連の図書のコーナーを開設いたしました。テー

まごとに図書の配架をしております、現在は約 3,000 冊のビジネスに関連する本を置いております。また、県内の各支援機関や団体とタイアップし、各種相談会、セミナー等を開催してまいりました。平成 21 年度以降は、「特許情報相談会」「起業事業融資相談会」「新規就農相談会」という 3 つの相談会を定期的で開催してまいりましたが、リニューアルオープンに際しこのビジネス支援事業を拡充しました。今年の 10 月 10 日に「一般財団法人鳥取県中小企業診断士協会」「公益財団法人鳥取県産業振興機構」「株式会社日本政策金融公庫」「鳥取県立図書館」「米子市立図書館」5 者でビジネス支援事業に関する協定を締結いたしました。これによりまして、鳥取県立図書館さんにはビジネス支援コーナーに鳥取県立図書館のコーナーを設けていただきまして、米子市立図書館には無いような統計資料などを長期で貸出いただきまして、さらに資料が充実したところです。また、専門家による相談会も拡充いたしまして、「ビジネス情報相談会」「起業・経営なんでも相談会」など、これまでよりも種類を増やして相談会なども実施しております。チラシも今日お配りしました。またご覧いただきたいと思います。ビジネスライブラリーフォーラムというのを 10 月 26 日に、この協定をしたということで開催しましたが、ここにも約 90 人位の方に参加いただきました。ビジネス支援事業については以上です。

また、続きまして資料 3 ですが、リニューアル後の図書館の利用状況についてということで表を載せさせていただきました。8 月のオープン以降 11 月までの数字を載せております。開館日数と個人貸出の利用人員と貸出利用冊数、また、個人の利用登録数、これは新規の方ですけど、それを載せております。一番下には来館者数を載せておりますが、前の図書館ではこの来館者をカウントする機能はありませんでしたので、比べることはできません。11 月を参考までに見ていただきますと、隣に 2 年前の 11 月の数字を載せておりますが、個人の貸出利用人員は約 1.6 倍になっておりますし、貸出利用冊数も 1.5 倍になっております。土日を中心に本当にたくさんの方に来館いただいております、親子連れ方が非常に増えているのを感じます。冬になりまして寒い日もありますが、冬も前の図書館でも来館の方が減ることなくおられると聞いておりますので、1 月以降もたくさんの方にご利用いただけるようにいろいろと催し物等も考えてやっていきたいと思っております。

その他のところですけど、1 つ、雑誌スポンサー制度を始めております。このリニューアルオープンからなんですけど、こちらの 1 階にあります、雑誌をたくさん並べているコーナーがあるんですけど、米子市立図書館が今、約 190 誌、週刊誌であったり、月刊誌であったり、季刊誌であったりするんですけど購入しております。それに事業者様の広告を載せていただいて、そのスポンサー料をいただいて市の自主財源の確保をするということで始めました。1 誌当たり年額が 1 万円、5 誌まとめてお申込をいただいた場合は 4 万円、10 誌まとめていただいた場合は 7 万円ということで、ホームページや 1 月号広報で募集をしております。今現在は 8 事業者様に 22 の雑誌のスポンサーになっていただいているところです。これも PR を頑張ってもう少し増やしていけたらと思っているところです。

以上、私の方からは、オープンしましてからの事業ですとか、新しく拡充した事業ですとか、リニューアル後の図書館の利用をたくさんしていただいているということでご報告をさせていただきました。

#### 渡邊会長

ありがとうございます。今のご報告について、みなさんからの忌憚りの無い意見をいただいて、意見交換できたらと思いますのでお願いします。

#### 藤原委員

感想ですけど、学校の子どもたちが図書館に本を借りに来ているときに、市立図書館に出かけたという話題をすることがあるんですけど、今までは子供たちがおうちの人に連れて行ってもらうという方向だ

ったのが、ほんの一部かもしれませんがおうちの方が子どもたちを誘って「行こうか」っていうような方向で出かけることも多くなったような、そういう話題を子どもたちから聞いています。

#### 渡邊会長

私もそれ聞きました。

#### 木下館長

新しくなってということもあるかもしれませんが、施設見学という形でも、秋にいくつかの小学校さんが来ていただきまして、館内を見ていただいたりしています。小学校だけでなく幼稚園とか保育園とかもあったと思いますが。

#### 今出委員

来たときに、すごく明るいし、活気もあるし、ここにおられる司書の方とか担当しておられるいろんな方が。私が本を借りるときも機械で借りる。わからないときにさっと来てくれて手伝ってくれる。すごく親切ですね。聞けば何でも答えてくださるような雰囲気。このリニューアルして、今すごく来られると思うんですよ、これをずっと続ける、もっと一層広げるためにも、1つとして広報活動があると思うんですよ。それはどのような広報活動を？

#### 木下館長

先ほども出たんですけど、多目的スペースというのも今回新たに出来まして、こういった場所を個人の方とか団体の方とかいろんな方に使っていただく、美術館でもオープンということで今サントリー美術館をやっていますが、秋には市展があったり県展があったり。美術館に行かれた方が図書館に来られるとか、図書館に来られた方が美術館にも立ち寄られるような姿も結構見られまして、そういった相互の利用というのが広がって、利用者の方がもっと増えていくといいなと思いますし、いろいろな形で新聞とかマスコミ方にも取り上げていただいています。図書館がすごくにぎわっているとか。先日も生田春月の関係で新たに自筆の詩集が寄贈されたという話題もありまして、そういったものも1月から皆さんの目に見える形で展示等もしていきたいと思いますので、いろんな機会を捉えて広報活動を積極的にしてたくさんの方に図書館の方に来ていただけたらと考えています。

#### 今出委員

それはわかるんですけど、意識しているとそういう広報活動も目に入る、耳に聞こえるんですけど、もう一步踏み込んだ広報活動みたいなものがよその図書館、美術館でもそうですけどあればいいと思う。来られた方の声とか、もっとこうして欲しとかということもあると思うんです。そういったものも上げながら市民の皆さんみんな育てる。広報に時々載りますけど、もっと目にパッと入るような。無いところのお金を使っているわけですから、そういった工夫をしていただきたい。

#### 木下館長

図書館の中でもそういった話題を取り上げて考えていただきたいと思います。

#### 鷺見委員

私の要望みたいなものなんですけど、公募のときの作文のときに「米子市立図書館のリニューアルに望むもの」ということで作文出したんですけど、もう1回言いたいんですけど、4大文豪というのがございまして、泉鏡花、幸田露伴、森鷗外、夏目漱石、この全集ですね。たぶん図書館にはあると思うんですけど、これの旧仮名遣いで、旧漢字の分ですね。全巻完備した方がいいと思うんです。私も泉鏡花とか森鷗外なんかのはっきり言ってなかなかさっと読めません。150年前くらいの本が読めないというのは日本人として情けないと思いますので、こういうものがバンとあると中学生でも高校生でも読んでやろうかなということでもいいと思います。館長さんとか専門の図書スタッフの方がおられますから、

こういう本は絶対読んだ方がいいって本ですね、各自 30 冊、50 冊でもいいんですけど、あった方がいい。図書館の人間が薦めるってこと。いろんな人が利用されておられますので、本好きの人がおられますので、図書館で購入して読まれたそういった数十冊の本というものがバックコーナーであった方がいいんじゃないかと思います。それから 21 世紀も 2013 年になって、だんだん難しい世の中になってきて、化学でも物理でも経済でもキーワードが出てくるんですね。そういったキーワードは本を見てもわかるんですけど、インターネットでキーワードの方を見るということで、図書館の方で端末を利用してキーワードがさっとできるようにする。そうすると本とインターネットの相互協力、これは藤原肇さんという人がおられるんですけど「カミトロニクス」と言われています。紙に書いてあるもの、キーワードをインターネットの方を見て知識を深めるとか。図書館の方で IT 環境をされていると思いますが、自由なやつを。最終的に言いたいことは、米子図書館として個性を打ち出すことが大切。人の交流も大切だと思うんですけど、図書館としては基本的な原点とかスタンダードな本がきちんとしてあるのが一番だと思うんです。米子は県庁はないので、鳥取の図書館に比べると少ないと思うんですけども、米子として原点的なスタンダードなものがきちんとありますから読める人は読んでくださいよということで。

#### 小林委員

中学校現場の点で言わせていただくと、いつも感謝しているんですけど、いろんな教材を授業で使いたいというときには、司書の方と米子図書館を中心にしてくださって、こういうものを使いたいんですよと言うと 50 冊位揃えていただけるんです。そうすると子どもたちが 1 つの授業で何か調べたい時に、1 人が 1 冊以上の資料が必ず手元にあるという。授業としては本当に助かりますし、よく使わせていただいています。いつも感謝しています。もう 1 つそうすると子どもたちが自分で調べたいときに、学校の図書館には無い資料があったりするんです。そうすると、学校の図書館で検索するとこの資料は米子市の図書館に行けばありますよというようにラインでつなげておいていただくと。たぶん司書の先生はつながると思います。子どもが自主的にこういうのを調べたいんだというふうになると、図書館としては幅が広がって自己の図書館だけでなく広い範囲の資料を探せるという意味ではいいかなと思って。司書の先生に言って探すんですけど、そういう子って割と意欲の高い、意識の高い子なんですけど、今の子ども達はすぐにパソコンを使えますので、検索っていうのがあればありがたいなと思います。もう一つは新しくなって私も邪魔するんですけど、すべてパソコン画面でいろんなものを検索することになっているんですけど、年配の方はどうしておられるのかなと、ちょっと不得意なんじゃないかなと思うんですけど、毎回画面の前で職員の方もきちっとついておられて、聞きながらやっておられるのでいいことなんじゃないかなと思っています。子どもたちが何とか本に近い立場にいてくれるように学校も頑張っていますので、協力をお願いします。

#### 木下館長

検索ということで言いますと、今県内の図書館がつながっていますので、米子市立図書館に無い本でも県立図書館の方から取り寄せることもできますし、しかも県立図書館の本ですと 2 日位経つとやってきます。毎日県立図書館からの便がありまして、すぐに市町村の窓口で借りていただくことが出来る。また返すときも市立図書館の方に持ってきていただいて、そこから県立図書館に返すことが出来るというようなネットワークが出来ていますので、ぜひ、米子市立図書館の本だけでなく、バックに 100 万冊の県立図書館さんの本がありますので、そういった形でのご利用もしていただけたらと思います。

#### 渡邊会長

バックに県立図書館があって、県立図書館は確か 1 億 3000 万でしたよね、図書の購入予算が。米子市立図書館の図書資料費をご存知ですか？たぶんあまり目にされないと思うんですけど、一昨年は 500 万少



なくて、1,500万でしたよね？でも、リニューアルということで、新しい本を入れたいということで3,000万。

#### 木下館長

雑誌以外に。雑誌を入れますと今年度は3,150万の予算がついています。

#### 渡邊会長

でも、そこでこれだけ1.5倍の人が行きかうようになりましたので、私たちのように図書館で活動すると、ほとんど学校の現場に本が出払って無いですね。私たちが読み聞かせをしようと思うと自前で買ってたり、学校から返ってくるのをリクエストをかけて待ってるんですね。ということは図書費の増額は必要じゃないかな、子どもの部分だけでなく全体的に。各市町村に比べるとそんなに多いわけではなく、少ない方だということをご自覚していただくと、インターネットでも数字が出ておりますので、この勢いでいい形で。今どなたが来られても、困っていると誰かがついてくださるといふのも、12月まで増員で入れてくださっているんですよね？

#### 木下館長

そうですね。オープン前後ということで引越しの作業もありましたし、今回リニューアルオープンで自動貸出機が3台設置されましたし、そういったこともあって、使い方等を説明したりということもありますので、その分人員を期間的に増やしていた部分があります。

#### 渡邊会長

いい形で市民の方は手厚いサービスを受けていたと思うんですけど、今後問題が起こらないように、皆さんから市民の声として声の箱なりに入れていただいて、図書館の方に予算をつけていただくような努力をしていただけるとありがたいです。継続って大変だと思うんですけど、何とか限られた市の予算だと思うんですけど、補足とか今後もいっぱい降り注いでいただけるとありがたいと思いますので、よろしくお願いします。その他皆さん何かありますでしょうか？日頃思っていることを忌憚なくいえる場にできたらいいなと思っておりますので、微力ですが、皆さんに助けをいただけて頑張りたいと思いますので、意見を出していただくのはすごくありがたいのでお願いします。

#### 勝部副会長

先ほど今出委員さんからもPRの方法って言ってたんですけど、建物が新しくなるとか人が換わるとかという時にみんなが注目する。その時にいかに上手く走り出して、力を持続していくかということで、その裏には予算もつけないといけないだろうし、今が一番いい時期で、注目されて人もたくさん足を運んでおられる、本も借りる人が増えているということですので、上手く我々も見ながらできたらいいかなと。

#### 今出委員

関連しますけど、魅力的な図書館にするには、ここの特色はこれなんだ、と。特色は1つではない、年齢層に合わせるとか。本のすごく好きな人はいるけど、あまり読まない、でも足を運ぶ人を大事にしないと裾野は広がらない。お金が絶対いると思います。そこに目が向くような、市民がやっぱり図書館は大事だよというふうになっていかないと。そのためには何が必要かということですよ。私も時々来るときにですね、子どもを見たときに、ここに来る子と来ない子、来る家庭と来ない家庭。この子どもたちの将来はすごく差ができるだろうって見えています。3歳くらいの子どもの本を入れる大きいバックを持って歩いて帰ったり来たりしているのを見ると、こういう姿がもっと広がったり、みなさんに見ていただいたりが必要なんじゃないかなと。すごく暖かい気持ちになります。いろいろ考える子どもが、親が増えるんじゃないかと思えます。

#### 鷺見委員

交流を増やせということですよ。ここ5年ほど米子まちなか1箱古本市というのがありまして、それをずっとやっております、今は2代目の八幡さんという方が世話役ですけど、今井書店さんのとこのウィンドウの通りでやっているんですけど、もう少し盛り上がりがないんですね。本が好きな人はたくさん売れるから、それで話ができて面白い。今年の秋、八幡さんの方から「ビブリオバトル知ってるか？」と言われまして、それは今井ブックセンターの2階を借りて、5人の人が自分の薦める本を5分間話して、それを聞いた人が投票して、どの本がチャンピオンになるか。BSのテレビでやっておりますけど、私も参加して、私のは硬い本だったので1票しか入らなかったんですけど、これを米子図書館さんの方でもビブリオバトルをやらせまして、そうするといろんな人が、私は結構硬い本で政治関係とか難しい本なんですけど、人によってはミステリーとか毒殺の本とか幸田文さんの話とか「ばななのはなし」とかされてますので、10人位の人が図書館で本を借りて「こんな本があるよ」と5分間やって、そうすると知らない人でも読んでみようかなと。あそこの図書館結構面白いことやっているなということなので人が増えるんじゃないかと。我田引水的な話をしますけど、よろしければ私の方とか八幡さんの方に、ビブリオバトルを図書館でできれば何とかできると思いますのでよろしくをお願いします。

#### 坂根委員

皆さんのすごい意見を聞かせていただいて、参考になったり勉強になったりします。今お話聞いて、今まで来てる子たちは勿論ですけど、来たことのない子たちとか、来たことのない人達を集めていく、足を運ばせるのが課題の1つだと思います。私も30年近くピアノ教室をしていますけど、習い事が主のお子様たちを何十年見ているという状況です。そういう子どもたちが来れるようなことをするのも米子図書館かなと思いました。

#### 渡邊会長

ブックスタートを米子市は頑張ってるらしいまして、0歳児から始まって、健診のときに米子立図書館の職員の方が応援に行かれて、ファーストブックで2冊生まれたお子さん達にお祝いに米子市から本を渡す、そこがチャンスなんですね。私達もボランティアで時々お伺したんですけど、その時に図書館のよさをPRしながら、「来てね、来てね」と言って。地道な活動だと思うんです。そこにターゲットを絞りながらみなさんが声をかけてくださっているの、ほしのぎんかのおはなし会も毎週増えています。「今日初めての方？」と言ったら親子で手を上げるのが2組、3組と毎週いらっしゃるんです。私達が25年前にここでおはなし会を始めた時には2人、3人知り合いの人を集めていたのが、もう今大きくなって成人されて、また戻ってきてくださっているんですね。逆に読み聞かせもしてくだっている、幼稚園や保育園の先生になられて。これって地道な活動で、広報といっても人を介さないとなかなか人は集まってこないの、みんながこういう意識を持ったら、増えてくると思いますので、こういう人たちが増えてくるのが一番だと思います。何かありますか？この位のところでよろしいでしょうか？

#### 木下館長

これでご意見が無いようでしたら、普段は閲覧の場所だけだと思いますが、バックヤードの学校支援室、製本室などもご覧いただけたらと思いますので。

#### 渡邊委員

今日はありがとうございました。